

第6学年国語科 学習指導案

平成25年12月 5日(木) 5校時
6年1組(男子12名 女子16名 計28名) 本時4/6
授業者 上田 浩稔

- 1 **単元名** 戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げよう
教材名 「ヒロシマのうた」(東京書籍6年下)

2 単元の目標

- 戦争と人間の生き方がえがかれた本を進んで読み、自分の考えを形成したり、それを見直したりしようとするができる。(関心・意欲・態度)
- ブックトークに向け、登場人物の相互関係をふまえて、人物像や心情を読み、自分の考えをまとめることができる。(C 読むこと(エ))
- 物語を読んで考えたことや、戦争と人間について考えたことを話し合い、自分の考えを広げることができる。(C 読むこと(オ))
- 戦争と人間の生き方についての本を複数選び、比べて読んで、相互に関連付けてブックトークの構成を考えることができる。(C 読むこと(カ))
- 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもって物語を読むことができる。(言 イ(カ))

3 単元について

(1) 単元観

①本単元で取り上げる主な指導事項

小学校学習指導案の第5学年及び第6学年「C 読むこと」の指導事項「エ 登場人物の関係をふまえて、人物像や心情を読み取っている」、「カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと」、「オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。」を取り上げて指導する。

②単元を貫く言語活動とその特徴

「C 読むこと」の言語活動例「イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説などの文章などを利用すること。」を具体化した「戦争と人間の生き方に関連した本を読み、テーマとの関連をはっきりさせながら複数作品をつなげて、自分の考えが伝わるようにブックトークを行う」という言語活動を位置付ける。ここで取り上げる「ブックトーク」は、「中心人物の心情の変化や、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを中心に考えながら様々な本を読み比べ、戦争と人間の生き方について自分が感じたことが、聞き手に伝わるような工夫を入れた紹介をする。」というものである。このことにより、本単元でねらう「目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読む能力」や「本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする能力」の育成につながる言語活動になると考える。

本教材は、第二次世界大戦の末期、1945年8月6日、原爆投下直後の広島町の町が生々しく描写されている。戦争という悲惨な現実を知らない子どもたちにとって、この作品は、歴史の中での出来事としてだけでなく、「わたし」を通して身近にヒロシマを、そして、戦争の一端を知ることができる。また、ヒロ子を育てあげた育ての母の愛情の強さや悲しみ、苦しみを経てたくましく成長していくヒロ子の姿に、「戦争と人間の生き方」をテーマにした本作品の「平和への願い」が描かれ、人間としての自分を考える機会をもつことができると考える。

(2) 児童観

児童は、7月の「ばらの谷」の学習では中心人物の心情の変化を読みとり、物語が自分に最も強く語りかけてきたことについて短い言葉で表現することを言語活動として取り組んできた。また、

10月の「海のいのち」の学習では、物語が自分に最も強く語りかけてきたことについて考え、プレゼンブクトークを行うことで、自分の考えを広げ深める学習を重ねてきた。また、今年度4月の全国学力調査の結果をみると、A問題において、関心・意欲・態度が低くなっている。また、資料を活用すること、自分の意見を述べることに課題がみられた。どの学習課題に対しても多くの児童が真面目に取り組むことができ、意欲的に中心人物の心情の変化と、物語が最も強く語りかけてきたことを読み、自分の言葉でまとめる力がついてきている。しかし、読みの深さには個人差があり、自分の生活と結び付けてまとめていくことや、自分の考えに自信を持てず積極的に伝えることや聞くことができていない児童も見られる。そこで、本単元では、図書支援員と連携して、市立図書館から本を借り、並行読書として『戦争と人間の生き方』に関連する本を今現在の生活と比べながら読み進めてきた。

(3) 指導観

第一次の単元の導入では、「戦争と人間の生き方」をテーマにしたブックトークを行うことを知らせ、実際にブックトークを行う。ブックトークの良さや方法を理解した上で、「伝える相手や目的を意識しながら本を読み、ブックトークをしよう」という学習のめあてをもつ。そして、「ヒロシマのうた」を読んで大まかな内容をとらえる。

第二次では、シャツに原子雲の刺繍をしたヒロ子の思い、「ヒロシマのうた」の題名の持つ意味など、作者が一番言いたかったことや物語が最も強く語りかけてきたことについて考える。そして、ヒロ子の生き方を通して、戦争と人間の生き方について話し合い、自分の考えを深め、広げていく学習活動を行う。

第三次では、並行読書をしてきた本からブックトークにむけてテーマにそったグループを作り、伝えたいことを自分の言葉でまとめる。また、効果的な言葉使いや表現の工夫などについても考えながら、ブックトークの準備をする。「聞き手に伝わるようなブックトークを行う」という活動を通して、多様な読み方や相手を意識し伝えるための表現方法を身につけさせるとともに、自分なりの考えをまとめ、書く力を高めることにつなげていきたい。そのために、ブックトークに向けてテーマを意識した並行読書を進めていく。また、他のグループの発表を聞いて、今までの読書生活をふり返り、さらに読書に親しむことができるようにさせたい。

(4) 研究テーマとの関連

主体的に児童が学ぶためには、児童自身が単元を通して学ぶ目的をもち、見通しをもって言語活動を展開していく必要がある。そこで、導入では、教師が『ブックトーク』の見本を見せ、単元のゴールイメージを具体的に示し、単元全体の学習の見通しを持たせる。児童は、並行読書で戦争と人間の生き方をテーマに読み進め、準備カードにまとめる活動を通して『ブックトーク』に向けて主体的に学習を進めていくと考えられる。

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	・戦争と人間の生き方がえがかれた本を進んで読み、自分の考えを形成したり、それを見直したりしようとしている。
読む能力	・ブックトークに向け、登場人物の相互関係をふまえて、人物像や心情を読み、自分の考えをまとめている。(エ) ・物語を読んで考えたことや、戦争と人間について考えたことを話し合い、自分の考えを広げている。(オ) ・戦争と人間の生き方についての本を複数選び、比べて読んで、相互に関連付けてブックトークの構成を考えている。(カ)
言語についての知識・理解・技能	・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもって物語を読んでいる。イ(カ)

<言語活動のモデル「ブックトーク」>

戦争と人間の生き方が
えがかれた本の中から

先生が選んだ3冊は・・・・・・・・。

テーマ 戦争の中の花

ポプラ社	一つの花 今西祐行 著

最も心に強く残ったこと

印象に残ったこと

偕成社	すみれ島 今西祐行 著

童心社	さくら 田畑精一 著

戦争の中で描かれている桜
に対する自分の思い

この3冊を選んだ理由

戦争中には、花のことなんて考えている余裕なんかないだろうに、「花」を題材にした本があったから、この3冊を選びました。

5 単元構想図

単元を貫く言語活動

戦争と人間の生き方に関連した本を読み、テーマとの関連をはっきりさせながら複数作品をつなげて、自分の考えが伝わるようにブックトークを行う。

◇学習の流れ

10月『海のいのち』学習後から並行読書を取り入れる。

第一次

- 教師によるブックトークを聞き、テーマに基づいて、自分の心に響く複数作品を選んでつなげ、自分の考えを伝えていこう、というめあてをもつ。
- ブックトークの特徴を確かめ、学習計画を立てる。

第二次

- シャツに原子雲のししゅうをしたヒロ子の思いや「ヒロシマのうた」という題名の持つ意味に関心をもった子どもの読みを生かしながら、ヒロ子の生き方を通して、戦争と人間の生き方について考える。

第三次

- テーマに沿ったグループをつくり、本を選んでブックトーク準備カードを書く。
- ブックトークを行う。
- 関連図書を読み、同じような描写から、自分の思いをより強くした、異なる角度から描かれた描写から、自分の思いが広がった、といったことを交流する。
- 評価カードに記入しながら、感想、意見、考えを伝え合う。

◇意識の流れ

【児童の実態】

- ・自分なりに考えをまとめて表現する力に弱さが見られる。
- ・個人差があるが進んで図書室に通う児童がいる。

- ・ブックトークって何だろう。
- ・どんなテーマでやってみようかな。
- ・班でいろいろな工夫ができそうでおもしろいな。
- ・戦争と人間の生き方をえがいた物語なんだな。

- ・原子雲の刺繍に込められた思いは何だろう。
- ・物語を読んで考えたことや感じたとは、みんな違っているんだな。
- ・全体で交流すると、よく分かるね。

- ・どんなテーマで読み進めようかな。
- ・本を読んで心ひかれたことを、自分の言葉でまとめよう。
- ・考えや気持ちがよく伝わるように発表の工夫をしたいな。
- ・ブックトークで紹介された本を読みたいな。

単元で付けたい力

- ・「戦争と人間の生き方」をえがいた本を読み、自分の考えや感じたことをまとめ、広げる力。
- ・これまでの読書生活をふり返り、さらに読書に親しむことができる力。

6 指導計画及び評価計画（全6時間）

	時	学 習 活 動	主 な 評 価 規 準
第一 次	1・2	○教師によるブックトークを聞き、テーマに基づいて、自分の心に響く複数作品を選んでつなげ、自分の考えを伝えていく、という見通しをもつ。単元のめあてと学習の流れを確かめる。	【関】 単元の学習のねらいを知り、ブックトークを意欲的にしようとしている。 (発言・行動観察)
		○物語を読んで大まかな内容をとらえる。	【読】 物語の内容を大まかにとらえ、印象に残る場面や言葉について考えている。 (発言・ノート・ワークシート)
第二 次	3・4 (本時)	○印象に残る場面や言葉について考える。 ・シャツに原子雲のししゅうをしたヒロ子の思いについて考える。 ・「ヒロシマのうた」という題名のもつ意味を考え、交流し合う。	【読】 物語を読んで考えたことを話し合い、自分の考えを広げている。 (発言・行動観察・ノート・ワークシート)
		・最後の一文に込められた思いについて考える。 ・ヒロ子の生き方を通して、戦争と人間の生き方について考える。	【読】 物語を読んで最も強く語りかけてきたことを自分の言葉でまとめている。 (発表、行動観察、ワークシート)
第三 次	5	○テーマに沿ったグループをつくり、本を選んでブックトーク準備カードを書く。	【言】 自分が感じたことが聞き手に伝わるような工夫を入れた準備カードが書けている。 (準備カード)
	6	○ブックトークを行う。 ・関連図書を読み、同じような描写から、自分の思いをより強くした、異なる角度から描かれた描写から、自分の思いが広がった、といったことを交流する。 ○評価カードに記入しながら、感想、意見、考えを伝え合う。	【読】 自分の考えたことや感じたことが伝わるようにブックトークをしている。(発表)

7 学習の展開

第一次 1時間目 (1/6)

(1) 目標 ブックトークの仕方を知り、興味を持つことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 単元のめあてと学習の流れを知り、見通しをもつ。</p> <p>・教師のブックトークを聞く。</p>	<p>○今まで並行読書してきた「戦争」や「人間の生き方」をテーマにしたブックトークを行うことを知らせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <div data-bbox="450 786 1203 860" style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;"> <p>ブックトークの仕方を理解しよう。</p> </div> <p>3 ブックトークについての感想を交流する。</p> <p>・準備カードについて理解する。</p>	<p>○本時のめあてを確かめる。</p> <p>☆単元の学習のねらいを知り、意欲的にブックトークをしようとしている。 【関】(発言・行動観察)</p> <p>※ブックトークの仕方を示し、準備カードを見せながら、見通しがもてるようにする。</p>
<p>4 次時の学習について知り、関連図書を読む。</p> <div data-bbox="308 1458 786 1626" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>家庭学習 登場人物を考えながら読んでくる。</p> </div>	<p>○ブックトークを行うテーマを意識させる。</p>

第一次 2時間目 (2/6)

(1) 目標 「ヒロシマのうた」の物語のあらすじをとらえることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
1、「ヒロシマのうた」の第三場面を読む。	
<p data-bbox="448 808 1203 882" style="text-align: center;">「ヒロシマのうた」の物語の大体をとらえよう。</p> <p data-bbox="288 947 715 1133">(1) 物語を読んで、大まかな内容をとらえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・どんな話か ・登場人物はだれか ・印象に残る場面や言葉 </p> <p data-bbox="288 1256 544 1290">(2) 全体交流をする。</p>	<p data-bbox="831 947 1281 1133">○考えたことや感じたことを書かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・題名について ・刺繍について ・ヒロ子について ・人物の関係について </p> <p data-bbox="831 1256 1410 1368">☆物語の内容を大まかにとらえ、印象に残る場面や言葉について考えている。 【読】 (発言・ワークシート)</p> <p data-bbox="831 1413 1410 1480">※グループで話し合いながら、児童の自由な考えを尊重し、発表させる。</p>
<p data-bbox="276 1608 807 1675">3 次時の学習について知り、関連図書を読む。</p> <div data-bbox="272 1682 788 1854" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p data-bbox="288 1693 400 1727">家庭学習</p> <p data-bbox="316 1733 772 1843">本時の学習をもとに、刺繍に込められた思いについて考えながら読んでくる。</p> </div>	<p data-bbox="831 1608 1410 1675">○ブックトークの具体的なテーマを提示し、テーマを考えやすくさせる。</p>

第二次 1時間目 (3/6)

(1) 目標 物語を読んで考えたことについて話し合い、考えを深めることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 前時の学習を思い出す。</p> <p>2 本時のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">ヒロ子の思いについて考えよう。</div>	<p>○前時に物語について考えたことを振り返り、さらにいくつかの観点から物語が強く語りかけてきたことをとらえることをおさえる。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 原子雲の刺繍に込められた思いについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で考える。 ・班で話し合い。 ・全体で交流する。 <p>(2) 自分の言葉でまとめる。</p> <p>(3) 題名のもつ意味について考える。</p>	<p>○なぜヒロ子が原子雲の刺繍をしたのかを考えさせる。</p> <p>○ヒロ子の生き方についても考えさせる。</p> <p>☆物語を読んで考えたことを話し合い、自分の考えを広げている。 【読】(発言・行動観察・ワークシート)</p> <p>※ヒロ子の人柄に関する叙述を手がかりにさせる。</p> <p>○作者が「ヒロシマのうた」という題名にしたわけを考えさせる。</p>
<p>4 次時の学習について知り、関連図書を読む。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>家庭学習</p> <p>心に残ったことをノートに書いてくる。</p> </div>	<p>○自分のテーマに沿った本を選び読ませる。</p>

第二次 2時間目（4／6） 本時

(1) 目標 物語を読んで最も強く語りかけてきたことを自分の言葉でまとめることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 前時の学習を思い出す。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">最も強く語りかけてきたことを自分の言葉でまとめよう。</div>	<p>○前時にヒロ子の生き方について考えたことを振り返り、物語が強く語りかけてきたことをとらえることをおさえる。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) ヒロ子の生き方を通して戦争と人間の生き方について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「戦争がもたらしたこと」を人物関係図に表し、確かめる。 ・最後の一文に込められた思いについて考える。 <p>(2) 最も強く語りかけてきたことを自分の言葉でまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班で交流する。 	<p>○登場人物について確認させる。</p> <p>○「するどい汽笛」や「上り」を手がかりに考えさせる。</p> <p>☆物語を読んで最も強く語りかけてきたことを自分の言葉でまとめている。 【読】(発表、行動観察、ワークシート)</p> <p>※家庭学習で考えてきた心に残ったことを振り返らせる。</p> <p>○周囲の児童と交流して多様な考え方にふれさせる。</p>
<p>4 次時の予告をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">家庭学習 自分のテーマにそった本を2冊以上選んでおく。</div>	<p>○ブックトークをすることを伝える。</p>

(3) 評価規準

B 概ね満足できる状況

◆物語を読んで最も強く語りかけてきたことを自分の言葉でまとめている。

わたしが、このヒロシマのうたを学習して、おそろしい戦争をもう二度としてはいけないと思いました。ヒロ子や橋本さん、義理のおばあさんは、大切な人を亡くしています。また、ヒロ子たちだけでなく、大切な家族や家、友だち、町を当時の人はうばわれています。戦争をするという事は、たくさんの命をうばう、意味のない行動だと思ったからです。

A 十分満足できる状況

◆物語を読んで最も強く語りかけてきたことを自分の生活と結び付けてまとめている。

わたしは、このヒロシマのうたを学習して、家族や身の周りのみんなの大切さを感じました。ヒロ子は本当の母を亡くしてしまっていて生きていけなくなっていたけど、稲毛さん、橋本さん夫婦に助けてもらい、幸せに生活できました。だから、私も支えてくれる家族、友だちみんなに感謝したいと思いました。

(4) 板書計画

ヒロシマのうた

今西 祐行

最も強く語りかけてきたことを自分の言葉でまとめよう。

戦争がもたらしたこと

汽車はするどい・・・
・・・上りにかかっていました。
・これからの明るい未来を表わしている。
・するどい汽笛は、つらい過去。
・強く生きていく。頑張って生きる。

最も強く語りかけてきたこと
・おそろしい戦争をもう二度としてはいけない
・家族や身の周りのみんなの大切さ

(5) 準備物

- ・ワークシート

第三次 1時間目 (5/6)

(1) 目標 「ブックトーク準備カード」を書くことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> テーマにそったグループを作り、ブックトーク準備カードを書こう。 </div>	
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) テーマにそったグループを作る。</p> <p>(2) 基本的な紹介事項について確認する。</p> <p>(3) 本のあらすじや感想、印象に残った場面や言葉など、伝えたいことを「ブックトーク準備カード」にまとめる。</p> <p>(4) 考えや気持ちが良く伝わるように、効果的な言葉使いや表現について考える。</p> <p>3 ブックトークの準備をする。 ・話すときのポイントを確認する。</p> <p>4 ブックトークの練習をする。</p>	<p>○紹介事項 (本の題名、登場人物、あらすじ、心に残った場面)を確認する。</p> <p>○本を読んで心ひかれたことを、まとめることができるようにする。</p> <p>☆自分が感じたことが聞き手に伝わるような工夫を入れた準備カードが書けている。【言】(準備カード)</p> <p>※効果的な言葉使いや表現の工夫などについて考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出だしの工夫 ・接続詞の使い方 ・文末表現 ・挿絵の紹介 ・印象に残った場面を朗読 <p>○話すときのポイント (声の大きさ、速さ、内容)を考えさせる。</p>
<p>5 本時の学習のまとめと次時の予告をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習 聞き手に伝わるようなブックトークをするための練習をする。</p> </div>	

第三次 2時間目 (6/6)

(1) 目標 聞き手に伝わるような、ブックトークを行うことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 前時の学習を思い出す。</p> <p>2 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>紹介したいテーマが伝わり、みんながぜひ読んでみたいと思うようなブックトークをしよう。</p> </div>	<p>○ブックトークの仕方を確認させる。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 伝える相手や目的を意識しながらブックトークをする。</p> <p>(2) 感想、意見、考えなどを伝え合う。</p>	<p>☆自分の考えたことや感じたことが伝わるようにブックトークをしている。 【読】(発表)</p> <p>※発表の前にブックトークの目的を確認しておく。</p> <p>○考えをわかりやすく伝えること、友だちの考えをしっかりと聞くことを意識させる。</p> <p>○自分の考えたことがよく伝わるようにブックトークの感想を評価カードに整理して書かせるようにする。</p> <p>○声の大きさだけでなく、発表の内容について伝え合うことができるようにする。</p>
<p>4 本時の学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習 今後も継続して、本読みカードに読書の時間を記入し、さらにいろいろな本を読み広げていく。</p> </div>	<p>○自分の読書生活をふり返り、考えを深めたことをもとにして、さらに読書に親しむことができるようにする。</p>